

年間行事案内

第21回企画展

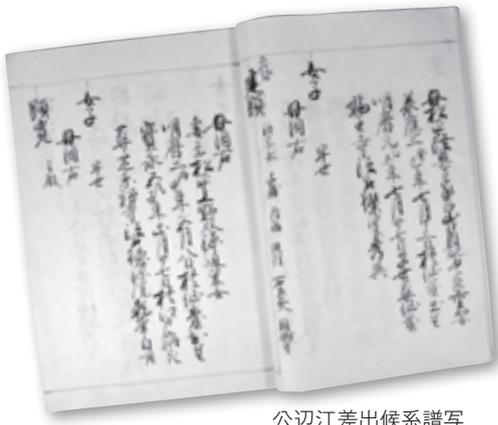
系譜 —由緒を語る江戸時代—

会期：9月13日(土)～11月3日(月・文化の日)

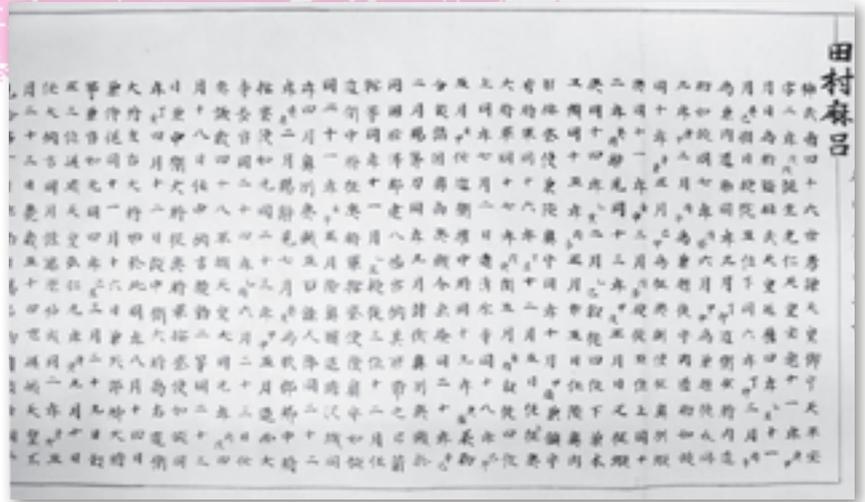
※9月13日(土)、博物館開館記念日の10月10日(金)、東北文化の日の10月25日(土)～26日(日)は、無料でご覧いただけます。

系譜とは、先祖から子孫に至る一族のつながりを示す図や記録のことをいいます。江戸時代には、幕府が諸大名の系譜を「寛永諸家系図伝」(重要文化財)や「寛政重修諸家譜」として編纂したほか、一関でも、藩主の田村家をはじめとして、多くの系譜が残されています。

それぞれの家で作成された系譜には、どのような意図がこめられているのでしょうか。系譜の展示を通じて、歴史的背景を探っていきます。また、一族のつながりを示すほかに、学問や技術の系統を示す系譜についても、紹介します。



公辺江差出候系譜写



系図別記

関連行事

◆講演会

①歴史史料としての諸家系譜 ～一関藩を中心として～

講師 鈴木幸彦氏(岩手県立博物館研究協力員)

日 時：9月27日(土) 午後1時30分～3時

②寛政譜と諸藩の系図について

～近世武家系図の意義と問題点～

講師 岸本良信氏(系図研究者)

日 時：10月26日(日) 午後1時30分～3時

定 員：一般100名(申込み必要)

会 場：博物館

参加料：無料

◆展示解説会

日 時：9月27日(土) 午後3時10分～4時

10月26日(日) 午後3時10分～4時

◆田村氏ゆかりの地を歩く

日 時：11月1日(土) 午前10時～12時

定 員：一般15名(申込み必要)

順 路：一ノ関駅(集合) → 時の太鼓モニュメント →

→ 沼田家武家住宅 → 釣山公園駐車場 → 八幡神社 →

→ 祥雲寺 → 一ノ関駅(解散)

参加料：無料

テーマ展
①

郷土のかたな—盛岡・仙台・一関—

会期：4/26日(土)～6/15日(日) ※4/26日は無料でご覧いただけます。

太刀 銘 山城大椽藤原国包

江戸時代に活躍した盛岡、仙台、一関の各藩のお抱え刀工作品を中心に、日本刀の源流ともなった蕨手刀、舞草刀も併せて一堂に展示紹介します。

関連行事：

■展示解説会

日時：4月26日(土) 午後1時30分～2時10分
5月 3日(土) 午後1時30分～2時10分
5月31日(土) 午後1時30分～2時10分

■刀のお手入れ

「家にある刀を錆びさせないようにするには?」という疑問をお持ちの方に、刀剣の基本的な取扱いをお示しします。

日時：5月18日(日) 午前10時～11時30分/午後1時～2時30分
6月15日(日) 午前10時～11時30分/午後1時～2時30分
定員：一般 各回10名(申込み必要) 参加料：無料

テーマ展
②

板木と和本の世界 新一関図書館オープン記念

会期：7/5日(土)～8/24日(日) ※7/5日は無料でご覧いただけます。

平成25年秋に岩手県の文化財に指定された当館所蔵の大槻家旧蔵板木を中心に江戸時代の和本について紹介します。



合衆国小誌板木

関連行事：

■講演会…江戸時代の出版事情

講師：橋口侯之介氏

(誠心堂書店店主、成蹊大学講師)

日時：7月13日(日) 午後1時30分～3時30分

定員：一般100名(申込み必要) 参加料：無料

■体験学習…和風ブックカバーをつくる

講師：学芸員

日時：7月20日(日) 午前10時～午後3時

持ち物：ブックケースを作る本1冊

定員：一般10名(申込み必要) 参加料：300円 昼食は各自

■展示解説会

日時：7月 5日(土)、8月17日(日) 午後1時30分～2時30分
7月13日(日) 講演会終了後1時間

テーマ展
③

小さき社に坐す神

会期：11/15日(土)～12/14日(日) ※11/15日は無料でご覧いただけます。

来年のお正月には、どこに参拝して1年の無病息災と昇進を祈願しますか?

身近な小さな祠やお堂は、意外とその存在を忘れがちです。磐井地方の村々を中心に、祠堂に祀られた特徴ある神々をご紹介します。古今民衆の祭祀と信仰のあり方を明らかにします。



小さき

関連行事：

■講演・対談

神仏にさぐる中世 ～東と西の融合～

服部英雄氏(九州大学比較社会文化学府教授)「中世の国東・庄園と宗教社会(仮題)」

入間田宣夫(当館館長)「中尊寺鎮骨寺村の神と仏」

■東の骨寺から西の田染庄へと連なる日本中世の宗教社会について語ります。

日時：11月23日(日) 午後1時～4時

場所：博物館 対象：一般100名(申込み必要) 参加料：無料

■展示解説会

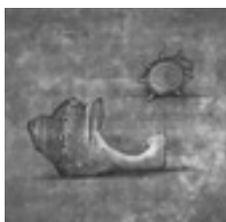
日時：11月15日(土) ①午前10時30分～11時15分 ②午前11時15分～12時 ③午後3時30分～4時15分
11月23日(日) 午後4時～4時30分

テーマ展
④

福井良之助孔版画展

会期：1/24日(土)～3/29日(日) ※1/24日は無料でご覧いただけます。

昭和20年代に一関市立一関中学校などで教鞭を執り、やがて昭和の日本を代表する洋画家として活躍した福井良之助。画壇デビューのきっかけとなった、謄写版(ガリ版)印刷を応用して芸術の域にまで高めた「孔版画」を紹介します。小さな画面の中に凝縮された诗情あふれる世界をお楽しみください。



〈貝二つ〉1962年

関連行事：

■ギャラリートーク

日時：2/7(土) 2/8(日) 3/7(土) 3/8(日)

の午前11時～11時40分/午後2時～2時40分

講座

館長講座



講師：入間田宣夫(館長)

対象：一般50名(申込み必要) 参加料：無料

①骨寺村絵図に描かれた駒形根と六所宮について

7月27日(日) 午後1時30分～3時

②なぜ清衡は中尊寺を建てたのか

9月21日(日) 午後1時30分～3時

③なぜ清衡の母は、清原武貞のもとに再嫁したのか

12月14日(日) 午後1時30分～3時

和算講座(一般編)

和算書『算法童子問』を通して和算の初歩に親しみます。

講師：岩手県和算研究会

日時：①6/21 ②7/19 ③8/30

④9/13 ⑤10/25 ⑥11/22

⑦12/6

の各土曜日午後1時30分～3時

定員：一般36名(申込み必要) 参加料：300円(初回のみ)



算法童子問

和算講座(研究編)

和算書『算法助術』等を使用して和算の公式について広く学びます。

講師：岩手県和算研究会

日時：①5/24 ②6/21 ③7/19

④8/30 ⑤9/13 ⑥10/25

⑦11/22 ⑧12/6 ⑨2/14

⑩3/14

の各土曜日午前10時30分～12時

定員：一般36名(申込み必要) 参加料：無料



算法助術

古文書講座(入門編)

当館所蔵の様々な古文書に触れて、読んでみませんか。初心者のための講座ですので、お気軽にご参加ください。途中参加も受け入れます。

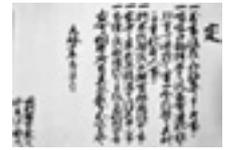
講師：学芸員

日時：①5/11 ②6/8 ③7/6

④8/3 ⑤9/14 ⑥10/12

⑦11/9 ⑧12/7 の各日曜日午後1時30分～3時

定員：一般36名(申込み必要) 参加料：300円(初回のみ)



徳川綱吉条目案

古文書講座(応用編)

当館所蔵の「通頭公御乗出一件帳」を素材に、一関藩と幕府・諸大名との関係を紐解きます。連続して参加できる方を募集します。

講師：学芸員

日時：①5/11 ②6/8 ③7/6

④8/3 ⑤9/14 ⑥10/12

⑦11/9 ⑧12/7の各日曜日午前10時30分～12時

定員：一般20名(申込み必要) 参加料：800円(初回のみ)



通頭公御乗出一件帳

史料で語る平泉

公家の日記や平泉で出土した史料などから、平泉藤原氏について読み解いていきます。

講師：学芸員

日時：①6/14 ②7/12 ③9/6 ④10/18

⑤11/15

の各土曜日午後1時30分～3時30分

定員：一般36名(申込み必要)

参加料：300円(初回のみ)



人々給絹日記

体験学習

グラスペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長が初めて日本に伝えたとされています。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人たちが目を見張ったことでしょう。大人のみの方も歓迎です。



講師：学芸員

日時：5月3日(土・憲法記念日)、5月4日(日・みどりの日)

各日とも午前9時開始、12時まで

午後の部は午後1時開始、4時まで

定員：小学3年生～一般 各回15名(付き添いの保護者もご参加ください。申込み必要)

参加料：300円(1人)

カメラマンと楽しむピンホールカメラ

レンズもないのに撮影できるピンホールカメラ。フォトグラファーを講師に、ピンホールカメラのしくみを学び手軽な撮影を試みます。針穴(ピンホール)を通して映し出される不思議な写真を楽しみましょう。



講師：阿部和史氏(フォトグラファー)

日時：6月1日(日)

午前9時15分開始、午後4時45分まで

定員：中学生以上、15名(申込み必要) 参加料：500円 昼食は各自

ピンホールカメラで撮影したあじわいのある風景

はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

①江戸時代のマジックボックス・のぞきめがねをつくろう

日時：6月7日(土)

午後1時30分開始(午後4時まで)

持ち物：500mlの牛乳パック1個

定員：親子25名(申込み必要)

参加料：300円(材料費)



②江戸時代のうつし絵をつくろう

日時：8月1日(金)、2日(土)

各日、午前10時～12時、

午後1時～3時の間随時

(所要時間約1時間)

定員：各日 50名(申込み不要)

参加料：50円(材料費)



③和紙を染めてみよう

日時：12月27日(土)

午前10時～12時、

午後1時～3時の間随時

(所要時間約1時間)

持ち物：なし。汚れてもいい服装でおこし下さい。

定員：50名(申込み不要)

参加料：50円(材料費)



対象：各回とも小学生以上(小学生は保護者同伴)

史跡めぐりー磐井の里の石めぐり

市内周辺に点在する巨石、石造物をめぐり、古来からの信仰にふれます。市のバスで移動します。詳細は後日広報等でお知らせします。

日時：①9月28日(日) ②10月11日(土)

午前9時～午後4時(予定)

定員：一般25名(申込み必要)

参加料：無料



重箱石(千厩町)

あなたも刀鍛冶修業

ファイゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、肌が出ない服装でおいでください)

講師：早坂政義氏(刀匠)

日時：10月4日(土) 午後1時～4時

定員：小学5年生以上一般20名(申込み必要)

参加料：200円(材料費)



歩き、み、ふれる景観博物館

景観に学ぶ

ホテルは伝統的な農村景観が維持されていることの指標となる生き物です。国の重要文化的景観である骨寺村荘園遺跡で、ゲンジボタルとヘイケボタルの源平合戦を観察しながら、それぞれの生息域の違いを知ります。

日時：6月28日(土)

午後7時～8時30分

場所：骨寺村荘園交流館若神子亭

展示棟集合(現地解散)

定員：10名(申込み必要)

参加料：無料



和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



日時：12月1日(月)に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。締め切り…1月20日(火)消印有効

定員：どなたでも、応募者には3月末日までに解答集をお送りします。

表彰式：3月1日(日)午後1時30分～3時

ツアー

美術館ツアー

当館テーマ展「郷土のかたな」を見学後、岩手県立美術館で開催の企画展「生誕100年! 植田正治のつくりかた」を鑑賞に出かけます。

一関市博物館では、刀剣の鑑賞についての解説及び植田正治の写真作品についての事前学習を行います。

作品鑑賞を楽しむことができる方であれば、児童・生徒の参加も歓迎です。小学生は保護者の付き添いをお願いします。

レクチャー：当館学芸員 日時：5月25日(日)

定員：小学生以上、一般 60名(申込み必要)

参加料：800円 昼食は各自



植田正治<パパとママとコドモたち>1949年 ©Shoji Ueda Office

「秋田蘭画展」とわらび座「げんない」観劇

秋田県角館の平福記念美術館で開催の秋田蘭画展と、わらび座「げんない」(平賀源内を題材としたミュージカル)を鑑賞します。

日時：10月30日(木)

午前7時30分博物館出発

午後6時40分博物館到着

定員：一般38名(申込み必要)

参加料：実費(予定6,500円、昼食代込)



常設展示

通史展示

- **一関のあゆみ [過去から未来への展望]**
原始・古代から現代まで、一関を中心とする地域の歴史の流れと特色を紹介し、中世荘園骨寺村に関する展示も加わり、未来への展望を開く展示となります。



【和算】一関八幡神社算額(復元)



【言海】言海初版本



【蘭学】蘭学階梯初版本



【刀剣】太刀 銘 舞草



【通史】紺糸威胴丸具足
(一関藩三代藩主田村村頭所用)

テーマ展示

- 1 **舞草刀と刀剣 [日本刀の源流・舞草刀]**
日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。
- 2 **玄沢と蘭学 [蘭学者大槻玄沢の業績]**
一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。
- 3 **文彦と言海 [本格的国語辞書の著者]**
わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人と業績について、映像を用いながら紹介します。
- 4 **一関と和算 [和算隆盛の地一関]**
一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。



中世荘園骨寺村ブース

ながめまもりよし 長沼守敬顕彰展示

明治時代に活躍した一関出身の洋風彫刻家、長沼守敬の作品を紹介します。



ご利用案内

入館料

区分	料金	団体(20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき 160円
一般	300円	1人につき 240円

※身障者の方(身障手帳提示)・65歳以上で一関市内にお住まいの方は免除(証明書等提示)

企画展・テーマ展初日、国際博物館の日の5月18日(日)、博物館開館記念日の10月10日(金)、東北文化の日の10月25日(土)、26日(日)は **無料** でご覧いただけます。

休館日

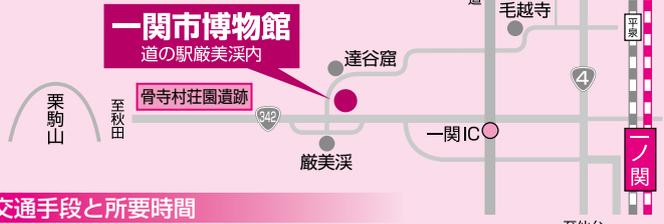
- 毎週月曜日(祝日の時は翌日)
- 資料整理のための休館日 12/16(火)～12/24(水)
- 年末年始 12/29(月)～1/3(土)

開館時間

午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

博物館までの所要時間

- **自動車**
一ノ関駅より 約17分(9km)
一関ICより 約7分(5km)
※一ノ関駅から路線バスで約20分(厳美溪バス停下車徒歩5分)



各交通手段と所要時間

- **JR東北新幹線**
東京⇄一ノ関 約1時間58分
盛岡⇄一ノ関 約23分
仙台⇄一ノ関 約21分
- **東北自動車道**
浦和IC⇄一関IC 約4時間30分(420km)
仙台宮城IC⇄一関IC 約1時間(88km)
盛岡IC⇄一関IC 約1時間(92km)
十和田IC⇄一関IC 約2時間10分(182km)